



学校便り
No. 13

※番号は昨年度から継続

夢・挑戦

令和2年6月2日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

学校再開。一方で郡市中体連総体は中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月の始業式と入学式の数日を除いて、3月から臨時休業（休校）し、5月20日から登校日として、毎日午前中授業を行いました。そして、今週6月1日から通常通りの学校教育活動が再開しました。これまで夏休み2回分の期間、学校が休みになったこととなります。1872年（明治5年）から学校制度が始まりましたが、148年間の歴史の中で今回のような一斉休校は初めてになります。

ところで、郡市中体連総体については、選手の皆さんをはじめ、先生方や保護者、大会役員、審判の方々など、すべての方々の「命を守る」ことを第一に考え、今年度中止になりました。選手の皆さんは、昨年秋から新チームで中体連優勝を目標に、練習や試合を重ねてきましたが、その成果を発表する場がなくなってしまい、残念でなりません。休校期間、自主的にランニングをしたり、トレーニングしたりする生徒を何人も見かけました。私も、部活動や社会体育の皆さんが活躍する姿を見れなくなり、がっかりしています。



【昨年度中体連 サッカー決勝戦】

特に3年生にとっては、最後の大会が中止になり、今、何も考えられない状況ではないでしょうか。しかし、3年生もしばらくの期間、部活動の練習を行い、3年間の成果を発表する場を設ける予定です。練習不足からケガや熱中症防止のため、引き続き気を抜かず真剣に部活動に取り組み、心や気持ちのけじめをつけてほしいです。また、一緒に練習した仲間、指導してくださった先生方やコーチ、試合の応援・引率等をしていただいた保護者・家族の方のためにも、態度と行動で感謝の気持ちを表してほしいと思います。こんな時こそ、風格ある二中生の姿を期待します。

「確かな学力は、正しい姿勢から」

学校は様々なことを学ぶ場ですが、何といっても授業が中心になります。生徒一人一人の夢の実現のため、確かな学力を身に付けることが学校の役割であり、使命でもあります。

さて、授業は1日6時間、1年で1015時間以上行われます。先生方は、「授業内容がわかる、勉強が好き、学ぶことは楽しい」と生徒が思えるように、授業準備をしっかりと授業に臨んでいます。

3ヶ月間の休み明けで、体力や気力が落ちていると思いますが、生徒の皆さんにお願いしたいことは、授業中の集中力です。授業で集中するためには、姿勢が大切になります。

以前、勤めていた中学校で、学力向上の研究発表会を行いました。その時、授業中の生徒の座る姿勢に力を入れ、学力向上を図りました。スローガンは、「確かな学力は、正しい姿勢から」でした。

姿勢が気になる生徒も見られますが、姿勢は見た目だけでなく、腰痛防止にもつながります。スポーツでも力を発揮するためには、構えや姿勢は重要になります。背筋を伸ばして、健康な体と学力アップを目指しましょう。

臨時の集会を開催して、2・3年生の運動部活動及び社会体育の生徒に、郡市中体連総体の中止を伝え、その後、部活動ごとに分かれまして。顧問の先生からの話に、涙を流す生徒や涙ながらに話される先生など、とても辛い光景でした。

9月からの管内の大会では、男子バスケットボール部とサッカー部が優勝、野球部と女子バスケットボール部、ソフトテニス部が準優勝し、どの部も郡市中体連優勝を目指していました。

3年生は、もうしばらく部活動ができます。仲間との時間やスポーツ、音楽、美術ができる喜びを大切にしながら、残りの1、2ヶ月間で技術やチーム力を高め、人間的成長をしてほしいです。

昨日の放課後、3ヶ月ぶりにグラウンドや体育館、教室に生徒の元気な姿と声に戻りました。当たり前の日常の有り難さを改めてかみしめました。